

タイトル『 かがみの孤城 』

著者：辻村 深月 出版社：ポプラ社

「行かないんじゃない、いけないんだ。」学校に行けなくなった主人公のころは、腹痛でスクールにも行っていない。そして、部屋に戻ると鏡が光っていた。その鏡をくぐりぬけると、そこには、同じように集められた同世代のころをふくめた7人が、城のような建物に集められていた。そこに「オカミさま」が現れ、城に隠された鍵を見つけることができれば、なんでも願いを叶えるという。

登場人物が自分と近い年齢だから、登場人物の立場として読みやすい。

投稿日 年 月 日

ペンネーム (本名は書かないでね!)

ねおとろ

年齢

13

仙台市 太白図書館 YAコーナー